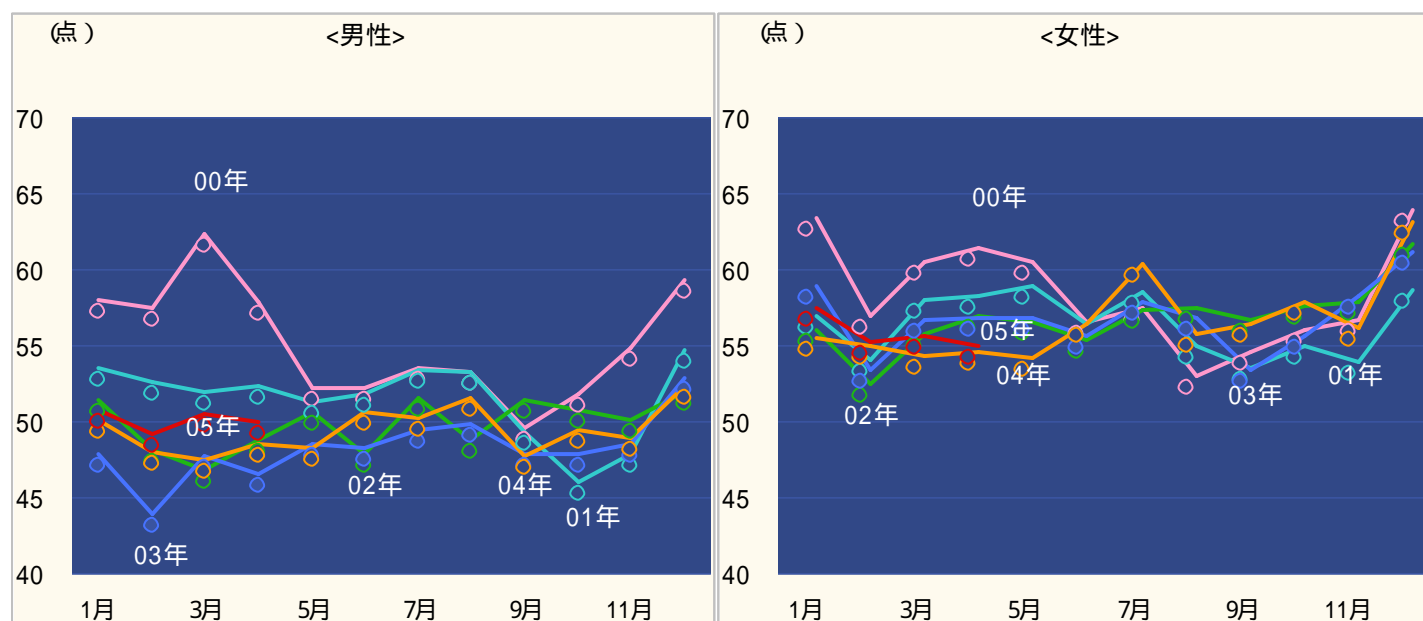


先月に比べ男女とも指数が減少するも、前年同月比はともに増加。

男女別の4月の消費意欲指数はともに先月比 - 0.5ポイントとなり、男性が49.2点、女性が54.3点となりました。しかし、前年同月比では男性で+1.5ポイント、女性で+0.5ポイントと男女とも増加しており、3月に続いて特に男性での増加が目立っています。男性の消費意欲はマクロ経済の動きに敏感なので、この状況が続くようであれば、今後の景気動向にも期待を抱けそうです。

同時に調査をしている生活力点では、男女とも「日常的な買い物」や「中くらいの買い物」は3月に比べ増加しています。また「余暇・レジャー」については、春の行楽シーズン到来のためか、3月に続いて男性で「力を入れたい」という人が増えており、9ヶ月ぶりに50%を超えて54.6%となりました。こちらでも男性が少し元気を回復しているといえそうです。



博報堂生活総合研究所のHP (www.athill.com)では、「消費意欲指数」も含め、生活者に関する調査データにご自由にアクセスすることが可能となっております。是非一度ご覧ください。

【調査概要 HILL ネット調査】

調査地域：首都圏 / 調査対象者：19~73才の男女個人420人 / 調査方法：郵送法

本件に関する詳細のお問い合わせは
博報堂生活総合研究所 (03-3233-6450) までお願いいたします。

